

# 平成30年度 奈良県准看護師試験問題

(P. 1～30)

## 注意事項

試験監督員の指示があるまで開いてはいけません。

- 1 試験問題は150問です。
- 2 試験時間は、午後1時から午後3時30分までの2時間30分です。
- 3 本試験はマークシート方式です。解答用紙には黒鉛筆で記入してください。
- 4 解答用紙に学校コード、受験番号のマークシートを塗りつぶした上、受験番号、氏名を記入してください。
- 5 学校コード

コード	学 校 名
1	阪 奈 中 央 看 護 専 門 学 校 准 看 護 学 科
2	奈 良 文 化 高 等 学 校
3	そ の 他 (既 卒 生 等)

- 6 答えは一問につき必ず一つです。下記の例に従って、正しく記入してください。

<記入例>

**問題 1** 奈良県庁の所在地について、**正しいもの**はどれか。

- 1 生駒市
- 2 奈良市
- 3 大和郡山市
- 4 香芝市

※ 正しい答えは「2 奈良市」なので、下のよう解答用紙にマークして下さい。

1	<input type="radio"/> 1	<input checked="" type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4
---	-------------------------	------------------------------------	-------------------------	-------------------------

- 7 マークが薄い場合、一部分しか塗っていない場合、消し跡が残っている場合は、不正解になることがあります。
- 8 間違って記入したときは、必ず消しゴムできれいに消してください。
- 9 解答用紙は折り曲げたり、汚したりしないでください。

【問題1】 <sup>じょうこう</sup>上行大動脈から分枝する血管について、正しいのはどれか。

- 1 冠状動脈
- 2 <sup>わんとう</sup>腕頭動脈
- 3 <sup>けい</sup>左総頸動脈
- 4 <sup>きこつか</sup>左鎖骨下動脈

【問題2】 成人の安静時、1分間に心臓から <sup>はくしゅつ</sup>拍出される血液量について、正しいのはどれか。

- 1 約 50 mL
- 2 約 500 mL
- 3 約 5 L
- 4 約 50 L

【問題3】 心電図で心室筋の興奮を示す波形について、正しいのはどれか。

- 1 P波
- 2 QRS波
- 3 T波
- 4 U波

【問題4】 <sup>かすいたい</sup>下垂体後葉から <sup>ぶんびつ</sup>分泌されるホルモンについて、正しいのはどれか。

- 1 成長ホルモン (GH)
- 2 抗利尿ホルモン (ADH)
- 3 <sup>こうじょうせん</sup>甲状腺刺激ホルモン (TSH)
- 4 <sup>ひしつ</sup>副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)

【問題5】 <sup>けっしょう</sup>血漿中に最も多く存在する電解質について、正しいのはどれか。

- 1 カリウムイオン
- 2 カルシウムイオン
- 3 ナトリウムイオン
- 4 マグネシウムイオン

【問題6】血液を濾過し原尿を作る部位について、正しいのはどれか。

- 1 糸球体しきゅうたい
- 2 尿細管
- 3 尿管
- 4 尿道

【問題7】肝臓の機能について、誤っているのはどれか。

- 1 グルカゴンの分泌ぶんびつ
- 2 グリコーゲンの貯蔵
- 3 血液凝固因子の合成ぎょうこ
- 4 胆汁の生成たんじゅう

【問題8】縦隔に位置するものについて、誤っているのはどれか。

- 1 胸腺せん
- 2 気管支
- 3 松果体しょうかたい
- 4 大動脈（胸大動脈）

【問題9】下肢にある骨について、正しいのはどれか。

- 1 橈骨とうこつ
- 2 腓骨ひこつ
- 3 篩骨しこつ
- 4 蝶形骨ちょうけいこつ

【問題10】日本人の食事摂取基準について、誤っているのはどれか。

- 1 健康な個人または集団を対象とする。
- 2 エネルギー収支バランスの維持を示す指標は、体重である。
- 3 推定エネルギー必要量は、身体活動レベルで異なる。
- 4 目的のひとつに生活習慣病の重症化予防がある。

【問題 11】 食事療法について、正しいのはどれか。

- 1 血液透析患者は、たんぱく質の摂取を制限する。
- 2 脂質異常症では、主に不飽和脂肪酸の摂取を制限する。
- 3 急性膵炎では、脂肪の摂取を制限する。
- 4 痛風（高尿酸血症）では、水分の摂取を制限する。

【問題 12】 食物繊維の働きについて、誤っているのはどれか。

- 1 ヒトの消化酵素では消化されない食物成分である。
- 2 便秘を改善する。
- 3 栄養素の吸収を促進する。
- 4 摂取基準の目標値が定められている。

【問題 13】 薬物の連用に伴う効果について、誤っているのはどれか。

- 1 習慣（習慣性）
- 2 耐性
- 3 偽薬（プラセボ、プラシーボ）効果
- 4 薬物依存

【問題 14】 ノルアドレナリンが放出される神経について、正しいのはどれか。

- 1 交感神経の節前線維
- 2 交感神経の節後線維
- 3 副交感神経の節前線維
- 4 副交感神経の節後線維

【問題 15】 薬物と副作用の組み合わせで、誤っているのはどれか。

- 1 副腎皮質ステロイド —— 糖尿病
- 2 ペニシリン系抗生物質 —— アナフィラキシーショック
- 3 モルヒネ —— 下痢
- 4 ループ利尿薬 —— 低カリウム（K<sup>+</sup>）血症

【問題 16】腫瘍<sup>しゅよう</sup>について、誤っているのはどれか。

- 1 シュニッツラー転移は、リンパ行性転移である。
- 2 肺がんは、男性に多い。
- 3 腫瘍<sup>しゅよう</sup>の発生原因のひとつとして、ウイルスがあげられる。
- 4 非上皮性悪性腫瘍<sup>しゅよう</sup>（悪性非上皮性腫瘍<sup>しゅよう</sup>）は、肉腫<sup>にくしゅ</sup>という。

【問題 17】浮腫<sup>ふしゅ</sup>について、正しいのはどれか。

- 1 細胞内液が異常に増加した状態をいう。
- 2 腎性浮腫<sup>ふしゅ</sup>は、高たんぱく血症により生じる。
- 3 肺に生じた場合は、呼吸困難をまねく。
- 4 炎症性浮腫<sup>ふしゅ</sup>により生じた滲出液<sup>しんしゅつ</sup>は、たんぱく質の量が少ない。

【問題 18】常染色体優性遺伝病について、正しいのはどれか。

- 1 血友病<sup>けつゆうびょう</sup>
- 2 ダウン症候群
- 3 マルファン症候群
- 4 フェニルケトン尿症

【問題 19】胃がんについて、正しいのはどれか。

- 1 前庭部（幽門前庭部）に発生することは、まれである。
- 2 リンパ節転移を認めないものを、早期胃がんという。
- 3 腺がんがほとんどである。
- 4 進行胃がんでは、ボールマン（ボルマン）分類を用いない。

【問題 20】脳疾患<sup>しっかん</sup>について、誤っているのはどれか。

- 1 下垂体腺腫<sup>かすいたい</sup>は、良性腫瘍<sup>しゅよう</sup>である。
- 2 アルツハイマー病では、神経細胞に神経原線維変化<sup>せんい</sup>がみられる。
- 3 硬膜下血腫<sup>こうまく</sup>は、硬膜<sup>こうまく</sup>と頭蓋骨<sup>ずがい</sup>の間にできた血腫である。
- 4 クモ膜下出血<sup>りゅう</sup>は、脳動脈瘤<sup>りゅう</sup>の破裂によるものが多い。

【問題 21】 病理検査について、誤っているのはどれか。

- 1 迅速診断（術中迅速診断）は、手術中の速やかな病理学的判断（病理検査）に用いられる。
- 2 生検（バイオプシー）は、組織の一部を切り取って組織学的に検査をすることである。
- 3 細胞診は、確定診断として行われる。
- 4 採取された組織の固定液には、ホルマリンがある。

【問題 22】 感染予防について、正しいのはどれか。

- 1 消毒は、対象物内のすべての微生物を殺すことである。
- 2 標準予防策（スタンダードプリコーション）は、感染症患者のための予防策である。
- 3 日和見感染は、感染に対する抵抗力が低下した人におこる。
- 4 ブドウ球菌は、薬剤耐性を持ちにくい。

【問題 23】 麻疹について、誤っているのはどれか。

- 1 感染初期に、かぜ様症状を呈する場合がある。
- 2 ワクチンによる予防接種が有効である。
- 3 空気感染（飛沫核感染）によって、伝播する。
- 4 潜伏期間は、3～5日である。

【問題 24】 アレルギー（過敏症）について、正しいのはどれか。

- 1 I型アレルギーでは、ヒスタミンが放出されることにより症状がおきる。
- 2 II型アレルギーは、免疫複合体反応である。
- 3 III型アレルギーは、遅延型アレルギーである。
- 4 IV型アレルギーには、アトピー性疾患がある。

【問題 25】 倫理に関する用語と説明の組み合わせで、正しいのはどれか。

- 1 インフォームドコンセント ————— 説明をした上での理解と同意
- 2 ターミナルケア ————— 積極的な治療に関するケア
- 3 リビングウィル ————— 家族の意向による延命
- 4 バイオエシックス（生命倫理） ————— 個人情報保護

【問題 26】 I C N看護師の倫理綱領<sup>こうりょう</sup>について、正しいのはどれか。

- 1 看護業務において、個人としての責任は有さない。
- 2 業務時間に限り、看護師として常に品行高く維持する。
- 3 看護師は、自然環境が健康に及ぼす影響を認識する。
- 4 患者の情報のすべてを協働者と共有する。

【問題 27】 ストレスについて、適切なのはどれか。

- 1 フロイトによって提唱された概念である。
- 2 有害刺激をストレッサーと呼ぶ。
- 3 ストレスの生体反応（生物学的反応）は、5段階に区別される。
- 4 抵抗期は、ショック相と反ショック相に区別される。

【問題 28】 各発達段階における患者の心理について、適切なのはどれか。

- 1 学童期には、分離不安がある。
- 2 青年期（思春期）は、第二次性徴が影響する。
- 3 成人期は、常に安定した心理状態である。
- 4 老年期は、環境の変化への適応能力が高い。

【問題 29】 防衛機制について、適切でないのはどれか。

- 1 抑圧とは、自分の欲求に気づき抑えること。
- 2 同一化とは、自分にとって好ましい人物の特性を自分のものとしようとする事。
- 3 合理化とは、もっともらしい理由をつけて正当化すること。
- 4 退行<sup>たいこう</sup>とは、低レベルの発達段階に逆戻りすること。

【問題 30】 四大公害病（4大公害）と原因の組み合わせで、正しいのはどれか。

- 1 水俣病 ————— ニッケル
- 2 イタイイタイ病 —— カドミウム
- 3 四日市喘息<sup>ぜんそく</sup> ————— 水銀
- 4 新潟水俣病 ————— 有機鉛

**【問題 31】 地域包括ケアシステムについて、正しいのはどれか。**

- 1 高齢者が住み慣れた地域で人生の最期まで暮らすことを目指す制度である。
- 2 高度急性期病院との連携は含まない。
- 3 都道府県単位での整備を目指している。
- 4 2020 年をめどに実現を目指している。

**【問題 32】 母子保健法における用語の定義について、誤っているのはどれか。**

- 1 妊産婦とは、妊娠中または出産後 1 年以内の女子をいう。
- 2 乳児とは、1 歳に満たない者をいう。
- 3 幼児とは、満 1 歳から満 4 歳に達するまでの者をいう。
- 4 新生児とは、出生後 28 日を経過しない乳児をいう。

**【問題 33】 労働基準法について、正しいのはどれか。**

- 1 労働時間は、原則として 1 週 45 時間を超えてはならない。
- 2 労働時間が 6 時間を超える場合には少なくとも 30 分の休憩時間を与えなければならない。
- 3 産後 4 週間以降の女性は、就業ができる。
- 4 妊産婦が請求した場合、時間外労働をさせてはならない。

**【問題 34】 看護の変遷について、正しいのはどれか。**

- 1 ナイチンゲールは、基本的ニードの 14 項目を示した。
- 2 1923 年に、看護教育に関する調査結果をまとめたゴールドマークレポートが発表された。
- 3 1948 年に発表されたブラウンレポートは、科学的看護を提唱している。
- 4 20 世紀は、看護の暗黒時代と呼ばれている。

**【問題 35】 医療安全について、適切なのはどれか。**

- 1 ヒヤリ・ハット体験は、レポートとして残さない。
- 2 医療事故には、医療従事者が被害者である場合は含まれない。
- 3 医療過誤は、医療従事者の過失がある場合をいう。
- 4 看護者は、医療事故が発生した場合に刑事上の責任のみ問われる。

**【問題 36】 看護活動について、適切でないのはどれか。**

- 1 看護は、あらゆる健康の段階にある人を対象とする。
- 2 日常生活援助活動は、「療養上の世話」に該当する。
- 3 機能別看護方式では、責任の所在が明確で、一貫した看護を継続しやすい。
- 4 チームナーシングとは、リーダーの指揮のもと、チームで看護を行うことである。

**【問題 37】 看護の倫理について、適切なのはどれか。**

- 1 「看護者の倫理綱領」は、看護者に自己の実践を振り返る際の基盤を提供するものである。
- 2 看護者が倫理的問題に遭遇した場合は、一人で解決する。
- 3 自律の原則とは、医療者の価値観や信念を尊重し、医療者が決定することである。
- 4 善行の原則とは、医療者にとって有益となる行いを行うことである。

**【問題 38】 災害時の看護について、適切なのはどれか。**

- 1 災害看護の対象は、自然災害の被災者のみである。
- 2 他の専門職と協力することはない。
- 3 生命や健康生活への被害を少なくする。
- 4 災害支援は、自施設内のみで行われる。

**【問題 39】 看護におけるコミュニケーションについて、適切でないのはどれか。**

- 1 マスコミュニケーションが基本である。
- 2 患者の理解できる言葉で話す。
- 3 アイコンタクトをとる。
- 4 患者の言動内容を確認する。

**【問題40】 成人の仰臥位での腹囲測定について、正しいのはどれか。**

- 1 膝を曲げた状態で行う。
- 2 剣状突起の位置で床面と垂直になるように巻く。
- 3 最大腹囲は、最も大きくなる位置で測る。
- 4 吸気の終わりに目盛りを読む。

【問題 41】 ボディメカニクスの原則について、適切なのはどれか。

- 1 患者と看護者のお互いの重心を遠ざけた方が安定する。
- 2 支持基底面しじきていめんは狭い方が安定する。
- 3 スムーズな移動のために摩擦まさつ力を大きくする。
- 4 大きな筋群を用いる。

【問題 42】 橈骨動脈とうこつでの脈拍測定について、適切なのはどれか。

- 1 指2本を軽くあてる。
- 2 看護師の手が冷たくてもそのまま測定する。
- 3 原則 15 秒間測定する。
- 4 はじめて測定する場合は、左右同時に測定する。

【問題 43】 包帯法実施の注意点について、適切なのはどれか。

- 1 指などは、皮膚ひふの2面が接するように巻く。
- 2 中ちゅうすう枢まっしょうから末梢へ巻く。
- 3 関節部を固定する場合は、良肢位りょうしいを保つ。
- 4 足関節には、折転帯せってんたいを用いる。

【問題 44】 与薬時の注意点について、適切なのはどれか。

- 1 食間薬は、食事に与薬する。
- 2 舌下錠は、水で飲みこむように指導する。
- 3 外皮用薬（経皮吸収パッチ）は、貼る部位の皮膚ひふの異常を観察する。
- 4 坐薬挿入時は、呼吸を止めるように指導する。

【問題 45】 胸腔穿刺きょうくうせんしに最も適している体位について、適切なのはどれか。

- 1 ファーラー位（ファウラー位）
- 2 腹臥位ふくがい
- 3 仰臥位ぎょうがい
- 4 截石位（碎石位）さいせきい

【問題 46】胃洗浄について、適切なのはどれか。

- 1 右側臥位<sup>そくがい</sup>で行う。
- 2 1回の洗浄液の注入量は、1 L程度とする。
- 3 洗浄液は、1 mの高さから注入する。
- 4 胃管を抜いた後、含嗽<sup>がんそう</sup>を促す。

【問題 47】死後のケアについて、適切でないのはどれか。

- 1 死後におきる外見的变化を目立たせないようにする。
- 2 体液・排泄物<sup>はいせつ</sup>の流出による汚染を防止する。
- 3 生前の故人や家族の希望を取り入れる。
- 4 死亡確認後、直ちに家族等の退室を促す。

【問題 48】持続的導尿時の管理について、適切でないのはどれか。

- 1 カテーテルの挿入は、無菌操作で行う。
- 2 カテーテルの固定は、男女とも大腿<sup>だいたい</sup>内側にする。
- 3 蓄尿バッグは、膀胱<sup>ぼうこう</sup>より低い位置にする。
- 4 蓄尿バッグは、外部から見えないように配慮する。

【問題 49】成人の浣腸<sup>かんちょう</sup>について、適切でないのはどれか。

- 1 体位は、原則左側臥位<sup>そくがい</sup>とする。
- 2 挿入するカテーテルの長さは、5 cm程度とする。
- 3 浣腸液<sup>かんちょう</sup>の注入時温度は、40～41℃程度とする。
- 4 浣腸液<sup>かんちょう</sup>の注入速度は、5秒で50 mL程度とする。

【問題 50】気管内吸引について、適切なのはどれか。

- 1 感染予防のため滅菌手袋を装着する。
- 2 吸引圧は、40 kPa (300 mm Hg) 程度である。
- 3 カテーテルは、気管分岐部にあたる位置まで挿入する。
- 4 1回の吸引時間は、30秒以内にする。

【問題 51】 おんあんぼう 温罨法の作用について、適切なのはどれか。

- 1 急性期の炎症を緩和
- 2 たいしや たいしや 新陳代謝（代謝）の抑制
- 3 ぜんどう 腸蠕動の抑制
- 4 血液循環の促進

【問題 52】 そくがい じよくそう 側臥位の褥瘡好発部位で、正しいのはどれか。

- 1 けんこうこつぶ 肩甲骨部
- 2 後頭部
- 3 じかいぶ 耳介部
- 4 仙骨部

【問題 53】 入院患者の日常生活の援助について、適切でないのはどれか。

- 1 入院前の生活情報を確認する。
- 2 安全に生活を送るために、常に全介助する。
- 3 その人らしく過ごせるように援助する。
- 4 心理面の援助を行う。

【問題 54】 環境調整について、適切なのはどれか。

- 1 冬の至適温度は、26℃である。
- 2 換気扇で行う換気は、自然換気である。
- 3 室温が同じでも、湿度が低ければ暑く感じる。
- 4 療養施設地域における夜間の騒音環境基準は、40 デシベル（dB）以下である。

【問題 55】 輸送車（ストレッチャー）による移送について、適切でないのはどれか。

- 1 使用前にブレーキのかかり具合を確認する。
- 2 患者の頭側の看護師は、患者の様子を観察しながら進行する。
- 3 できるだけ振動を避ける。
- 4 斜面を上がるときは、患者の足側から進む。

【問題 56】衣生活の援助について、適切なのはどれか。

- 1 病衣（寝衣<sup>しんい</sup>）の素材は、吸湿性のあるものがよい。
- 2 病衣は、1日1回の交換でよい。
- 3 手術直後の病衣は、患者の好みを優先する。
- 4 障害部位がある場合、病衣は患側から脱がせ、健側から着せる。

【問題 57】全身清拭<sup>せいしき</sup>について、適切なのはどれか。

- 1 食後1時間以内に行う。
- 2 湯温は、40～42℃で準備する。
- 3 順序は、原則として下半身から上半身とする。
- 4 皮膚<sup>ひふ</sup>の露出は、最小限にする。

【問題 58】看護過程について、適切なのはどれか。

- 1 アセスメントは、看護計画の評価のことである。
- 2 看護問題の優先順位は、マズローの基本的欲求の階層が参考となる。
- 3 看護目標は、看護者を中心として方向性を表現する。
- 4 看護計画の具体策は、観察、治療、教育の3種類に分類する。

【問題 59】死後に現れる身体的特徴について、正しいのはどれか。

- 1 全身の硬直<sup>こうちよく</sup>
- 2 赤紫色の斑紋の消失
- 3 瞳孔縮小<sup>どうこう</sup>
- 4 体温の上昇

【問題 60】褥瘡<sup>じょくそう</sup>予防の援助について、適切なのはどれか。

- 1 局所の圧迫は、6時間以内にする。
- 2 ブレーデンスケールは、褥瘡<sup>じょくそう</sup>が発生してから使用する。
- 3 90度側臥位を多く取り入れる。<sup>そくがい</sup>
- 4 摩擦とずれを避ける。<sup>まさつ</sup>

【問題 61】患者を理解する上で、適切でないのはどれか。

- 1 身体的・精神的・社会的な側面を別々に持っている。
- 2 家族も影響を受ける。
- 3 患者それぞれの価値観がある。
- 4 自己決定権を持っている。

【問題 62】急性期にある患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 全身状態の急激な変化を観察する。
- 2 生命の維持に努める。
- 3 意識がない場合は、声かけを控える。
- 4 家族が安心できるよう配慮する。

【問題 63】終末期にある患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 痛みは、客観的なものであることを考慮する。
- 2 患者の死の受容段階は、怒り、否認、取り引き、抑うつ、受容と進む。
- 3 家族の予期的悲嘆<sup>ひたん</sup>とは、患者の死を前にして感じる悲嘆<sup>ひたん</sup>をいう。
- 4 霊的苦痛<sup>れい</sup>（スピリチュアルペイン）とは、身体的苦痛をいう。

【問題 64】不安の程度と特徴について、適切でないのはどれか。

- 1 軽度では、学習の動機づけとなる。
- 2 中程度では、注意力が高まる。
- 3 強度では、知覚領域の低下がみられる。
- 4 パニックでは、命令されても行動できない状態となる。

【問題 65】ショック時の徴候について、正しいのはどれか。

- 1 尿量の増加
- 2 血圧の上昇
- 3 皮膚の乾燥<sup>ひふ</sup>
- 4 顔面の蒼白<sup>そうはく</sup>

【問題 66】 安静療法を受ける患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 安静の必要性について、納得が得られるように説明する。
- 2 清潔援助は必要ない。
- 3 床上安静の場合、体位変換を制限する。
- 4 精神的援助は不要である。

【問題 67】 輸液療法を受ける患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 1日の水分出納を観察する。
- 2 滴下速度は、自分で調節してよいと説明する。
- 3 刺入部に発赤や腫脹はないか確認する。
- 4 排泄動作が安全に行えるよう環境を整える。

【問題 68】 検査における看護について、適切でないのはどれか。

- 1 検体の取り扱いは、標準予防策（スタンダードプリコーション）を守る。
- 2 検体の取り違いに注意する。
- 3 検査後は一般状態の観察をする。
- 4 検査結果の説明は、看護師が行う。

【問題 69】 食事療法を受ける患者の看護について、正しいのはどれか。

- 1 経管栄養では、注入後に仰臥位を保持する。
- 2 経管栄養の場合、口腔内の清潔保持の必要はない。
- 3 患者の生活習慣を考慮する。
- 4 栄養サポートチーム（NST）は、管理栄養士がリーダーシップをとると定められている。

【問題 70】 薬物療法を受ける患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 治療効果を高めるため、生活を整える。
- 2 事故防止のために、6つのRight（6R）の確認が必要である。
- 3 与薬後は、副作用の出現に注意する。
- 4 アドヒアランスを低く保つ。

【問題 71】<sup>としゅ</sup>徒手筋力テスト（MMT）が4以上の時に行う運動について、正しいのはどれか。

- 1 抵抗運動
- 2 自動運動
- 3 自動介助運動
- 4 他動運動

【問題 72】集中治療室で治療を受ける患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 <sup>ちんつう</sup>鎮痛・<sup>ちんせい</sup>鎮静が適切に保たれているか観察する。
- 2 夜間でも常に十分な照明を保っておく。
- 3 不必要な話し声、足音、物音などによる騒音を防ぐ。
- 4 プライバシーが保たれるよう配慮する。

【問題 73】<sup>とうせき</sup>血液透析療法を受ける患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 水分は自由に摂取できると説明する。
- 2 感染症予防に努める。
- 3 シヤント（内シヤント）は、日常の管理は必要ない。
- 4 <sup>ふくまく</sup>腹膜炎の合併症に注意する。

【問題 74】精神療法を受ける患者の援助について、適切なのはどれか。

- 1 患者の話を聞いて、良いか悪いかの評価を行う。
- 2 まず看護師自身の考えを患者に伝える。
- 3 看護師のペースで話を進める。
- 4 患者の状況や気持ちに関心を向ける。

【問題 75】<sup>こうまく</sup>持続硬膜外麻酔について、正しいのはどれか。

- 1 <sup>せきずい</sup>脊髄クモ膜下腔に局所麻酔薬を注入する。
- 2 麻酔薬の投与方法は、1回注入法で行う。
- 3 全身麻酔と併用することはない。
- 4 術後の<sup>とうつう</sup>疼痛管理に使用できる。

【問題 76】成人の胸骨<sup>きょうこつ</sup>圧迫について、正しいのはどれか。

- 1 ベッド上で行う場合は、背板を挿入する。
- 2 圧迫の深さは、胸が約 1 cm へこむようにする。
- 3 1 分間あたり 60～80 回圧迫する。
- 4 中断時間の長さは、効果に影響しない。

【問題 77】リハビリテーションにおける看護について、適切でないのはどれか。

- 1 個人の持つ能力を最大限に活かし、自立性を目指す。
- 2 障害は身体的機能にとどまらず、心理的な働きにも大きな影響を与える。
- 3 看護師は、常に励まし続けることが重要である。
- 4 各人の障害の程度によって回復のしかたが異なる。

【問題 78】レジオネラ肺炎について、誤っているのはどれか。

- 1 空気中に飛散した菌を含む水滴やエアロゾルを吸入することで発症する。
- 2 市中肺炎である。
- 3 症状の進行は遅い。
- 4 治療には、マクロライド系の抗生物質を用いる。

【問題 79】酸素療法について、正しいのはどれか。

- 1 適応は、動脈血酸素分圧 (P a O<sub>2</sub>) が 70 mmHg (Torr) 以下を基準とする。
- 2 鼻腔カニューレ<sup>くう</sup> (鼻カニューラ) は、8 L 以上の場合に用いる。
- 3 ベンチュリーマスクでは、呼吸パターンにより吸入気中の酸素濃度が変動する。
- 4 在宅酸素療法は、呼吸不全状態にある患者が在宅において酸素療法を行う方法である。

【問題 80】気管支喘息<sup>ぜんそく</sup>患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 継続治療の必要性を理解できるように説明する。
- 2 発作時には、仰臥位<sup>ぎょうがい</sup>にする。
- 3 退院指導では、アレルゲンの除去を目的とした環境整備を説明する。
- 4 禁酒を指導する。

【問題 81】呼吸困難が強い患者の看護について、適切な組み合わせはどれか。

- a 患者が呼吸しやすい体位を工夫する。
  - b 患者の不安・恐怖の軽減に努める。
  - c 患者のセルフケアを促す。
  - d 呼吸の回数のみ注意する。
- 1 aとb    2 cとd    3 aとc    4 bとd

【問題 82】不整脈の治療について、誤っているのはどれか。

- 1 上室性期外収縮（心房期外収縮）は、緊急治療が必要である。
- 2 WPW（ウォルファーパーキンソンーホワイト）症候群は、カテーテルアブレーションが有効である。
- 3 心房細動には、 $\beta$ 遮断薬が使用される。
- 4 心室細動には、植え込み型除細動器（ICD）が用いられる。

【問題 83】ペースメーカー治療の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 患者の不安が軽減されるよう援助する。
- 2 心電図モニター波形に注意する。
- 3 一時的ペースメーカー治療を受けた患者には、ペースメーカー手帳を渡す。
- 4 退院に向けて、脈拍の自己測定（自己検脈）ができるよう指導する。

【問題 84】循環器疾患患者の食事指導について、適切なのはどれか。

- 1 摂取エネルギーは、標準体重 1 kgあたり 50 kcal/日とする。
- 2 塩分制限は、1日 10 g とする。
- 3 ワルファリンを内服している場合、ビタミンK含有量の多い食物を禁止する。
- 4 食事療法は、患者にのみ指導する。

【問題 85】心臓手術を受ける患者の術前看護について、適切でないのはどれか。

- 1 術後の肺合併症予防のため、痰の喀出の練習を行う。
- 2 手術前の与薬は、医師の指示に従う。
- 3 食事は、手術前日の夕食から制限する。
- 4 手術方式に応じた除毛を行う。

【問題 86】潰瘍性大腸炎について、正しいのはどれか。

- 1 原因不明の肉芽腫性病変である。
- 2 粘血便、下痢がみられる。
- 3 学童期に発生することが多い。
- 4 薬物療法により完治することが多い。

【問題 87】非代償性肝硬変患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 食道静脈瘤破裂の早期発見に努める。
- 2 アルコールの摂取は、可能と説明する。
- 3 癢痒感が伴う場合は、清潔行為を禁じる。
- 4 肝性脳症の予防に、たんぱく質の摂取を勧める。

【問題 88】上部消化管内視鏡検査時の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 検査中は、不安が軽減するよう声をかける。
- 2 検査中の体位は、右側臥位とする。
- 3 口腔中にたまった唾液は、口から出すよう説明する。
- 4 検査後は水を少し飲んで、嚥下状態を確認してから食事を始める。

【問題 89】多発性骨髄腫について、誤っているのはどれか。

- 1 形質細胞が腫瘍化した疾患である。
- 2 病的骨折を合併することが多い。
- 3 低カルシウム血症が出現する。
- 4 感染症に罹患しやすい。

【問題 90】糖尿病患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 インスリンの注射部位は、毎回同じ場所にする。
- 2 薬物治療中は、動悸、冷や汗、手指のふるえを観察する。
- 3 運動療法として、有酸素運動を勧める。
- 4 インスリン自己注射を始める患者には、自己注射できるよう指導する。

【問題 91】バセドウ病について、正しいのはどれか。

- 1 メルゼブルグの3徴候（メルゼブルクの三徴）とは、こうじょうせん甲状腺腫・ひんみやく頻脈・眼球突出である。
- 2 男性に好発する。
- 3 治療として、こうじょうせん甲状腺ホルモン補充療法を行う。
- 4 体重は増加傾向になる。

【問題 92】高尿酸血症について、誤っているのはどれか。

- 1 つうふう痛風発作は、足の母趾のつけ根に好発する。
- 2 つうふう痛風発作時には、ちんつうやく消炎鎮痛薬を用いる。
- 3 食事療法では、肉料理を多くする。
- 4 尿酸結晶の沈着が、腎機能障害の原因になる。

【問題 93】ようついせんし腰椎穿刺時の看護について、適切なのはどれか。

- 1 検査時の姿勢は、ふくがい腹臥位で行う。
- 2 せんし穿刺時の介助は、無菌操作で行う。
- 3 上肢のしび痺れを観察する。
- 4 検査後は、頭を高くして安静にする。

【問題 94】関節リウマチについて、正しいのはどれか。

- 1 滑膜の炎症は、左右非対称的に起こる。
- 2 手指の関節では、夜のこわばりを感じる。
- 3 めんえきしっかん自己免疫疾患である。
- 4 赤沈（血沈）値が遅延する。

【問題 95】せきずい脊髄損傷患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 尿路感染予防のため、水分を多めに摂取する。
- 2 じょくそう褥瘡予防のため、定期的に体位変換をする。
- 3 げり下痢になりやすいため、食事を調整する。
- 4 こうしゆく関節拘縮予防のため、機能訓練を正しく行う。

【問題 96】腎・泌尿器疾患しつかんの検査について、正しいのはどれか。

- 1 尿流動態（ウロダイナミクス）検査は、下部尿路の排尿機能を調べる検査である。
- 2 インジゴカルミン試験（色素膀胱鏡検査ぼうこう）は、インジゴカルミン液を内服して行う。
- 3 腎シンチグラム（腎シンチグラフィ）は、腎の形態のみを調べる検査である。
- 4 開放生検（開放性腎検せいけん）とは、生検針せいけんによって組織を採取する方法である。

【問題 97】ネフローゼ症候群患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 浮腫ふしゅの軽減のため、安静を保持できるように指導する。
- 2 たんぱく質を多く摂取できるよう食事指導を行う。
- 3 ステロイド薬の使用中は、副作用の出現に注意する。
- 4 長期療養に向けて、自己管理ができるよう指導する。

【問題 98】更年期障害について、正しい組み合わせはどれか。

- a エストロゲンの急増などの内分泌環境ないぶんびつの変化をおこす。
  - b 器質的疾患しつかんの裏づけに乏しい不定愁訴ふていしゅうそを伴う。
  - c 血管運動神経症状として肩こりや腰痛がある。
  - d ホルモン補充療法が有効である。
- 1 aとb    2 cとd    3 aとc    4 bとd

【問題99】ウイルス感染症について、誤っているのはどれか。

- 1 帯状疱疹たいじょうほうしんは、水痘・単純ヘルペスウイルスすいとうの初感染によりおこる。
- 2 尋常性疣贅じんじょうせいゆうぜいは、ヒトパピローマウイルス（ヒト乳頭腫ウイルス）の感染によりおこる。
- 3 水痘の潜伏期間は、約2週間である。
- 4 伝染性軟属腫（みずいぼ）は、小児のアトピー性皮膚炎ひふを有する者に多い。

【問題 100】熱傷患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 受傷直後は、冷やすことを指導する。
- 2 重症熱傷の場合は、たんぱく質を補給する。
- 3 必要時には、鎮痛薬ちんつうやくを与薬する。
- 4 受傷部位の拘縮こうしゆくを予防するため、できる限り安静を保つ。

【問題 101】 アナフィラキシーショックについて、正しいのはどれか。

- 1 食品の経口摂取が原因となることはない。
- 2 抗原を認識後に産生された I g M抗体が関与する。
- 3 気道の確保が重要である。
- 4 治療として、フロセミドが有効である。

【問題102】 H I V（ヒト免疫不全ウイルス）感染症について、誤っているのはどれか。

- 1 感染後に感冒様症状が現れることがある。
- 2 無症候期は、約半年である。
- 3 H I V抗体検査でスクリーニングする。
- 4 免疫力の低下によりニューモシスチス肺炎をおこすことがある。

【問題 103】 もうまくはくり網膜剝離の手術を受ける患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 視野欠損の程度を確認する。
- 2 手術方法により、術後の体位が決定することを説明する。
- 3 手術後は、同一体位に伴う苦痛を軽減する。
- 4 退院後は、積極的に運動するように説明する。

【問題 104】 眼底検査を受ける患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 さんどう散瞳薬のアレルギーについて問診する。
- 2 さんどう散瞳時間には、個人差があることを説明する。
- 3 光がまぶしくても、医師の指示に従い固視するよう声をかける。
- 4 検査後、すぐに車の運転ができることを説明する。

【問題 105】 こうとう喉頭がんについて、誤っているのはどれか。

- 1 発生の誘因には、喫煙がある。
- 2 りかん罹患者は、男性よりも女性に多い。
- 3 大部分は扁平上皮がんである。
- 4 させい嗄声を訴えることが多い。

【問題 106】鼻出血のある患者の看護について、適切なのはどれか。

- 1 顔を上にむけて止血するよう勧める。
- 2 小鼻をしっかり指で押さえて圧迫するよう説明する。
- 3 口腔内に流れ込んだ血液は、飲み込むように伝える。
- 4 少量出血の場合、ベロックタンポンの挿入を介助する。

【問題 107】抜歯の処置を受ける患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 疼痛の有無を確認する。
- 2 清潔なガーゼで圧迫止血をする。
- 3 頻回なうがいを指導する。
- 4 帰宅後も出血が続く時は、受診を勧める。

【問題 108】肺結核について、誤っているのはどれか。

- 1 空気感染（飛沫核感染）である。
- 2 結核菌に感染した人の 60%は発病する。
- 3 診断には、T-S P O T（Tスポット）、Q F T（クオンティフェロン）検査を用いる。
- 4 治療は、化学療法が中心である。

【問題 109】虫垂炎について、正しいのはどれか。

- 1 虫垂内腔の閉塞が、発生原因のひとつである。
- 2 食欲不振・吐き気などの消化器症状を伴わない。
- 3 高齢者に多く発症する。
- 4 カタル性虫垂炎の場合は、外科手術を行う。

【問題 110】パーキンソン病について、正しいのはどれか。

- 1 神経伝達物質のドパミンが増加し発症する。
- 2 発症は 40 歳代に多い。
- 3 歩行は小刻みになる。
- 4 安静時振戦はみられない。

【問題 111】月経異常について、正しいのはどれか。

- 1 原発性無月経とは、満 15 歳になっても初経のおこらないことである。
- 2 希発月経とは、月経周期が 30 日以上のものである。
- 3 月経前症候群とは、月経開始時に出現するものである。
- 4 月経困難症とは、日常生活に支障が生じるほどのものをいう。

【問題 112】歯の萌出について、誤っているのはどれか。

- 1 乳歯は、生後 6 か月頃にはえはじめる。
- 2 乳歯は、上顎・下顎をあわせて 28 本萌出する。
- 3 第 1 大臼歯は、6 歳臼歯ともよばれる。
- 4 第 2 生歯である永久歯は、11～13 歳頃には萌出が終了する。

【問題 113】加齢により生じやすい生理機能の変化について、正しいのはどれか。

- 1 残気量が増加する。
- 2 拡張期血圧が上昇する。
- 3 腸の蠕動運動が亢進する。
- 4 膀胱容量が増加する。

【問題 114】高齢者に発現しやすい人格の特徴について、誤っているのはどれか。

- 1 猜疑心
- 2 協調性
- 3 保守性
- 4 心気性

【問題 115】高齢者の慢性閉塞性肺疾患患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 喫煙者には、禁煙を指導する。
- 2 胸式呼吸を指導する。
- 3 適度な運動を指導する。
- 4 気道感染予防のために、ワクチン接種を指導する。

【問題 116】高齢者の心不全患者の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 呼吸困難が増強したときは、仰臥位ぎょうがいがいをとらせる。
- 2 服薬の必要性を指導する。
- 3 毎日体重測定するように指導する。
- 4 排便コントロールを行う。

【問題 117】レビー小体型認知症にんちしょうの特徴について、誤っているのはどれか。

- 1 幻視・幻覚
- 2 パーキンソン症状
- 3 起立性低血圧
- 4 感情失禁しつきん

【問題 118】骨粗鬆症こつそしょうしょうに伴う骨折の好発部位について、誤っているのはどれか。

- 1 椎骨（脊椎骨）
- 2 橈骨遠位端部（橈骨遠位端）  
とうこつ                      とうこつ
- 3 大腿骨頸部  
だいたいこつけいぶ
- 4 脛骨骨幹部  
けい      こつかん

【問題 119】高齢者の脱水の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 予防には、食事の摂取も重要であると説明する。
- 2 口渇を感じにくいため、注意して観察する。  
こうかつ
- 3 頻尿ひんにょうの場合は、常に水分摂取を制限する。
- 4 電解質のバランスを確認する。

【問題 120】高齢者の不眠への看護について、適切でないのはどれか。

- 1 就寝前にマッサージを行う。
- 2 就寝前に足浴をする。
- 3 睡眠薬を使う場合は、副作用に注意する。
- 4 長時間の昼寝を勧める。

【問題 121】介護保険について、正しいのはどれか。

- 1 保険者は都道府県である。
- 2 地域包括支援センターは、介護予防マネジメントの実施拠点である。
- 3 介護サービス計画は、看護師が作成する。
- 4 サービス利用者負担は、原則3割である。

【問題 122】高齢者の<sup>はいよう</sup>廃用症候群について、誤っているのはどれか。

- 1 関節拘縮<sup>こうしゆく</sup>
- 2 筋肥大<sup>ひだい</sup>
- 3 起立性低血圧
- 4 抑うつ

【問題 123】高齢者の摂食機能について、誤っているのはどれか。

- 1 塩味の知覚が鈍くなる。
- 2 誤嚥<sup>ごえん</sup>しやすくなる。
- 3 咀嚼<sup>そしゃく</sup>力が低下する。
- 4 消化・吸収機能が高まる。

【問題 124】高齢者の入浴の援助について、適切なのはどれか。

- 1 脱衣所と浴室の温度差は、10℃以上になるように調整する。
- 2 入浴は、食事の直後に行う。
- 3 浴槽の湯の温度は、冷めないように約45℃に設定する。
- 4 入浴後は、水分を補給するように促す。

【問題 125】尿失禁<sup>しっきん</sup>と症状の組み合わせで、正しいのはどれか。

- 1 切迫性尿失禁<sup>しっきん</sup> —— 尿を我慢できず漏れる
- 2 腹圧性尿失禁<sup>しっきん</sup> —— 排泄動作<sup>はいせつ</sup>に時間がかかり漏れる
- 3 機能性尿失禁<sup>しっきん</sup> —— 尿が溜まると尿意なく漏れる
- 4 反射性尿失禁<sup>しっきん</sup> —— くしゃみをしたときに尿が漏れる

【問題 126】 高齢者に対する服薬指導について、適切でないのはどれか。

- 1 薬物と飲食物との相互作用について説明する。
- 2 服用方法によって薬袋を色分けする。
- 3 バッカル錠は、噛みくだいて飲むよう指導する。
- 4 家族にも、服薬方法について説明する。

【問題 127】 リプロダクティブヘルス／ライツの問題として、適切でないのはどれか。

- 1 性暴力
- 2 妊産婦死亡
- 3 医療事故
- 4 性感染症（STD）

【問題 128】 妊娠の生理について、正しいのはどれか。

- 1 受精は、卵管膨大部で行われる。
- 2 受精卵は、受精2日後に着床する。
- 3 妊娠4週には、胎児心音が聴取できる。
- 4 胎盤が完成するのは、妊娠23週である。

【問題 129】 妊婦の保健指導について、適切なのはどれか。

- 1 妊娠36週以降の定期健康診査（妊婦健診）は、2週間に1回の受診を勧める。
- 2 鉄分の多い食品の摂取を制限する。
- 3 歯磨きの励行を勧める。
- 4 靴のヒールは、高さ5 cm程度のものを勧める。

【問題 130】 分娩の3要素について、誤っているのはどれか。

- 1 産道
- 2 破水
- 3 胎児およびその付属物
- 4 娩出力

【問題 131】産褥期<sup>さんじょく</sup>の異常と看護について、適切なのはどれか。

- 1 分娩後<sup>ぶんべん</sup> 24 時間以降におこる 38℃以上の発熱は、観察の必要がない。
- 2 子宮復古不全<sup>ふっこふぜん</sup>がみられる場合は、直接授乳をしないように指導する。
- 3 マタニティブルーズは、すぐに精神科治療につなげる必要がある。
- 4 乳頭を痛がる場合は、吸着状況を観察し、児が深く吸着できるように援助する。

【問題 132】新生児について、誤っているのはどれか。

- 1 出生時の平均体重は、約 3,000 g である。
- 2 出生時の平均身長は、約 50 cm である。
- 3 出生時の平均頭囲は、約 33 cm である。
- 4 出生時の平均胸囲は、約 28 cm である。

【問題 133】乳幼児<sup>げり</sup>の下痢の看護について、適切なのはどれか。

- 1 排便を誘発するため、頻回なオムツ交換は避ける。
- 2 便のにおいや色調の観察は、必要ない。
- 3 完治するまでは、経口からの水分摂取は禁忌<sup>きんき</sup>である。
- 4 感染予防を徹底する。

【問題 134】乳幼児<sup>しっかん</sup>の消化器系疾患について、誤っているのはどれか。

- 1 先天性食道閉鎖症は、外科手術を必要とする。
- 2 肥厚性幽門狭窄症<sup>きょうさく おうと</sup>の症状には、噴水状嘔吐がある。
- 3 腸重積症<sup>かんちょう</sup>は、高圧浣腸による整復が基本である。
- 4 ヒルシュスプルング病の症状には、下痢<sup>げり</sup>がある。

【問題 135】小児の身体の計測について、適切でないのはどれか。

- 1 2 歳未満の身長は、乳児用身長計を用いて仰臥位<sup>ぎょうがい</sup>で測定する。
- 2 頭囲は、前頭結節（眉間）と後頭結節（後頭部突出部）を通る周囲を測定する。
- 3 腹囲は、条件を一定にして計測する。
- 4 胸囲は、吸気時に測定する。

【問題 136】小児の成長発達について、適切なのはどれか。

- 1 あやすと声をたてて笑うのは、2 か月頃である。
- 2 座るのは、7 か月頃である。
- 3 片足とびができるようになるのは、2 歳頃である。
- 4 スキップができるようになるのは、3 歳頃である。

【問題 137】川崎病について、正しいのはどれか。

- 1 原因不明の慢性熱性疾患<sup>しつかん</sup>である。
- 2 基本病態には、全身の血管炎がある。
- 3 主に学童期に好発する。
- 4 治療は、副腎皮質ステロイド<sup>ひしつ</sup>の大量投与が第一選択である。

【問題 138】てんかん患児の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 疲労を避けるよう指導する。
- 2 内服は、発作を起こした時のみでよい。
- 3 発作時には、衣服をゆるめる。
- 4 発作時は、外傷を受けないように保護する。

【問題 139】気分障害について、誤っているのはどれか。

- 1 うつ病では、活動が亢進<sup>こうしん</sup>する。
- 2 うつ病では、自殺企図<sup>きと</sup>に注意する。
- 3 うつ病の治療薬には、SSRI（選択的セロトニン再取り込み阻害薬）がある。
- 4 躁状態<sup>そう</sup>の治療薬には、炭酸リチウムがある。

【問題 140】精神障害の診断について、正しいのはどれか。

- 1 頭部CTによる画像診断は、精神障害には使わない。
- 2 血液検査は必要ない。
- 3 心理テストのひとつに知能検査がある。
- 4 精神障害の診断分類（アメリカ精神医学会）のDSM-10 が広く普及している。

【問題 141】 <sup>しっかん</sup>疾患と症状の組み合わせで、正しいのはどれか。

- 1 統合失調症 ————— 幻聴
- 2 うつ病 ————— <sup>ほんいつ</sup>観念奔逸
- 3 <sup>こうはんせい</sup>広汎性発達障害 — <sup>どんま</sup>感情鈍麻
- 4 てんかん ————— 過食

【問題 142】 精神障害の治療について、誤っているのはどれか。

- 1 精神科リハビリテーションの一環として、レクリエーション療法がある。
- 2 身体療法の中心は、薬物療法である。
- 3 電気けいれん療法は、自殺の危険が低い患者に行われる。
- 4 生活技能訓練（社会生活技能訓練）（S S T）は、集団精神療法のひとつである。

【問題 143】 精神科に入院している患者の<sup>かくり</sup>隔離について、正しいのはどれか。

- 1 24 時間の<sup>かくり</sup>隔離には、精神保健指定医の判断は不要である。
- 2 同一部屋で 2 人まで<sup>かくり</sup>隔離することができる。
- 3 懲罰を目的としたものであってはならない。
- 4 本人の意思による保護室の入室も<sup>かくり</sup>隔離にあたる。

【問題 144】 精神看護の観察について、適切でないのはどれか。

- 1 身体的側面の観察は、生活習慣病の発見につながることもある。
- 2 精神的側面の観察は、入院後症状が安定してからでよい。
- 3 社会的側面の観察は、患者の文化的・宗教的・経済的側面等を観察する。
- 4 日常生活の観察は、日常生活動作の度合いを確認する。

【問題 145】 精神科の入院時リスクマネジメントについて、適切なのはどれか。

- 1 転倒と向精神薬の関連性は低い。
- 2 入院中は、自殺のリスクはない。
- 3 措置入院中の患者の離院は警察に届ける。
- 4 感染予防対策は必要ない。

【問題 146】精神科に入院している患者の身体的拘束時の看護について、適切でないのはどれか。

- 1 実施の際は、複数人で対応する。
- 2 バイタルサインの確認をする。
- 3 肺塞<sup>そくせん</sup>栓症の予防に、弾性ストッキングを使用する。
- 4 拘束実施後に拘束の必要性を説明する。

【問題 147】精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）に規定される行動制限について、誤っているのはどれか。

- 1 開放処遇の制限
- 2 通信・面会の制限
- 3 危険物持ち込みの制限
- 4 隔離<sup>かくり</sup>による制限

【問題 148】障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に定める支援について、誤っているのはどれか。

- 1 福祉ホーム
- 2 就労移行支援
- 3 生活保護
- 4 行動援護

【問題 149】精神保健福祉に関する法律名と内容との組み合わせで、正しいのはどれか。

- 1 精神病患者監護法 ————— 医療費の公費負担制度の創設
- 2 精神衛生法 ————— 精神障害者の私宅監置を認めた
- 3 精神保健法 ————— 精神衛生鑑定医制度の創設
- 4 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法） — 精神障害者保健福祉手帳の創設

【問題 150】防衛機制の投影（投射）の説明について、正しいのはどれか。

- 1 自分にとって不快な感情を、他人が自分に対してもっていると思い込むこと。
- 2 社会的に認められない欲求をほかの形におきかえて実現すること。
- 3 受け入れがたい感情を、代替りのもので満足すること。
- 4 困難な状況から逃げ出し、不安や恐怖から逃れようとする事。